

12 歯根分割症例に装着したテレスコープ外冠と 歯頸部歯肉の形態表示法の開発

小林 梢, 水橋庸子¹, 大沼誉英², 河野正司²

明倫短期大学歯科衛生士学科, ¹附属歯科診療所, ²歯科技工士学科

keywords : 歯根分岐部歯肉, テレスコープ外冠, Pメンテ

はじめに

大臼歯の歯根分岐部歯肉に重篤な炎症があり, 口腔内へと瘻孔が存在している症例にしばしば遭遇する. この様な症例では, 分岐部歯肉の Pメンテ を容易に行えるように, 歯根分割して分岐部の罹患歯肉を搔爬除去した後, テレスコープ冠を装着して機能回復を図ることがある.

この場合, Pメンテを有効に行うためには, 外冠と分岐部歯肉との形態的な関係を知っておくことが望ましい. そこで今回, 装着したテレスコープ外冠と歯頸部歯肉の形態表示術式を新たに開発したので, ここに報告する.

1. 目標

歯根分岐部歯肉の形状およびテレスコープ外冠歯根分岐部形状の頬舌断面を明示できる方法を考案する.

2. 開発する術式の要求仕様

- ・歯根分岐部の形態をシリコン印象材で印象採得する.
- ・採得する印象にテレスコープ外冠の形状も再現できるようにしたい.
- ・歯根分岐部の前頭面断面形状を, 咬合平面を基準として表示したい.
- ・通常の歯科治療に用いる器材, 器具で可能な術式とする.

3. 開発した術式の要点

- ①手順 (1) 根分岐部顎堤をシリコン印象材で印象採得.
- (2) 撤去した印象の内面 (内冠, 分岐部顎堤粘膜面, 歯肉などに相当) に, 異なる色のシリコン印象材を注入.

- (3) さらに第3色シリコン印象材で全体を覆う.

- (4) 根分岐部を同定して切断面を作成する.

②切断面の定位法

- 1) 内冠石膏模型に適合する個歯トレーを製作. (トレー辺縁部が内冠辺縁から十分に離れるように)
- ・トレーの上面は咬合平面と平行に製作.
- ・トレーの根分岐側面は剃刀の刃が入る間隙で, 咬合面に垂直面とする.
- 2) 採得した印象塊は, 個歯トレー上面を露出させておく. ⇒ 咬合平面の表示のため印象塊の底面を咬合平面に平行に整形.
- 3) トレー上面に現れている根分岐部の間隙にカミソリを当てて, 咬合面に垂直に切断. ⇒ これによって咬合平面に垂直な根分岐部中央の切断面が得られる.

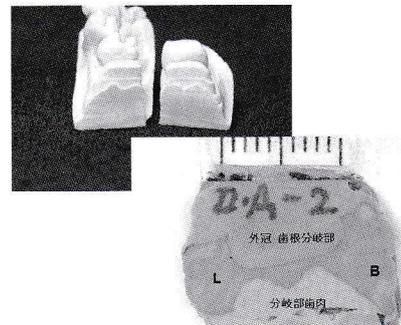


図1 上図: 石膏模型断面
下図: 印象断面 (赤: 外冠 黄: 歯肉 青: 空隙)